

第 46 回 日本薬剤師会学術大会

薬剤師の新たな使命～120 年の歴史を踏まえて～

< 報告者 > 副会長 大村 洋子

日時：平成 25 年 9 月 22 日（日）23 日（月・祝）

会場：大阪国際会議場 リーガロイヤルホテル リーガロイヤルNCB 堂島リバーフォーラム

主催：公益社団法人日本薬剤師会／一般社団法人大阪府薬剤師会

最初、日本薬剤師会長 児玉 孝 氏より、挨拶があった。

本年は、明治 26 年（1893 年）、薬剤師は必ず国民の医療や健康に貢献でき、必要であるとの思いで全国組織である日本薬剤師会が創立されてから、120 周年にあたる。

今、薬剤師は、原点を見直すべきである。医薬品のインターネット販売においては、適正な使用ができるように率先して啓発して頂きたい。最後に次世代に繋げるように、薬剤師として役割、責任を果たして行って頂きたい。と話された。

・日本薬剤師会賞表彰などの表彰式が執り行われた。

大会記念講演 「人生 100 年一人を元気にする」

建築家 安藤 忠雄

生きている証として、日々感動しないと・・・そのためには、感性を磨く事、想像力を持つ事。

これは、毎日の筋トレのように、毎日磨くことが大事だと、強調された。

音楽家なら、絶対音感。 デザイナーなら、絶対色感。

これなら、誰にも負けないものをつくること。

想像力を育てるためには、栄養がいる。寄り道して、物事を自分で考えることが大事。おもしろいと思ったら、一度行ってみたり、やってみたら良い。その場合、どうしてもしたい、行きたいという意志を持つ。そして、どうしたら実現できるか、一生懸命考える。何とかなるからを、脱却する。ぎりぎり追い込まれる事も大事。そこから、何かが生まれる。

わからないものがあったとしても、わかるように近づいていかなければならない。建築家なので、ギリシャのパルテノン神殿は、見ておかなければならない。と言われ、最初に見た時は、さっぱりわからなかった。2～3 回行って、やっとわかりかけてきた。これからも、通う事で、見えてくるものがある。

自分の心を育てて、自分の心に希望を持つ子、自立心を持つ子を育てる事が大切。考える子どもを育てなきゃならないと思う。心の中に希望を持ち新しい社会をつくっていきましょう。と話された。

さて、薬剤師は、絶対〇感・・・〇に何の漢字をいれますか？

分科会 10

学校薬剤師の新たな取り組み

13:45～15:45 リーガロイヤルホテル

① 基調講演 新たな学校薬剤師像にむけて

文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課

北垣 邦彦 氏

・これまでの学校薬剤師は、学校保健の黒子？学校保健の認識不足により教職員、生徒から学校薬剤師の顔が、見えない。

学校薬剤師の顔が見えるようにすると、学校保健の認識も向上する。

学校薬剤師は学校保健の名わき役になってほしい！とエールを送られた。

保健管理

・子どもの安心・安全を見守る。

学校保健安全法第 23 条 保健管理に従事することが学校薬剤師の職務であると定める。平成 22 年度「全国学校保健調査」の結果より、定期検査の完全実施については、未だ改善の余地がある。第 24 条学校保健計画及び学校保健安全計画の立案に参加する。学校薬剤師の働きがけが大事である。

・健康相談、保健指導にも関与

（健康課題）放射線、化学物質、PM2.5、ワクチンなどの健康影響

アレルギー、感染症への対応

保健教育・子どもが将来にわたって、明日にむかって生活できる

薬物乱用防止教室、医薬品に関する教育。教材、資料の提供、助言など。

教諭と一緒に授業をする場合、単独である場合は学習指導用要領の記載内容を把握する必要がある。発達段階に応じた言葉、表現方法を考える。

健康情報が氾濫している今、判断や行動に影響がある。医薬品の適正使用ができるようにするため、教育が大事である。

*全般に、顔の見える学校薬剤師になってほしいことをベースに、話された。

② 近畿・大阪ブロックで実施した学校給食ATPふき取り検査報告と今後の活動課題

一般社団法人滋賀県薬剤師会 大迫 芳孝

・「学校給食衛生管理基準」に従い学校給食に関する衛生管理が日々、実践されている。

日本学校薬剤師会近畿ブロックの各学校薬剤師会は、平成23年度共同研究として、それぞれの府県の実況を調査。また、本調査を通じて学校薬剤師が学校給食衛生管理へ関わりを深めると共に、その方向性を探ることを目指した。

(給食現場に、常に学校薬剤師が関わられるように願いを込めて・・・)

・調査機関：平成23年9月5日～10月26日

・調査施設：府県市内学校の単独調理場、

・検査箇所：洗浄後のまな板、包丁、調理台、冷蔵庫の取っ手、回転釜の水道栓(10点) 冷蔵庫内の棚、まな板保管庫の内定、野菜のスライサーのベルトシンクの内底、手指、

・測定方法：ATPふき取り検査法 ATP測定器(hygiena社、SystemSure Plus, キッコーマン食品株式会社 ルミテクターPD-20)

*この検査を通じて、洗浄・消毒ができていないか、適切に清浄度を評価する。

(結果) Aパターン：まな板、包丁、野菜スライサーベルトは、水洗い洗浄よくできている。

Bパターン：調理場、シンク内定、回転釜の水道カランは、洗浄が行き届きにくい

Cパターン：冷蔵庫の取っ手、まな板保管庫の内定は、ATP測定2種類により清浄度の判定に差が出た。

手指は、人それぞれなので(常在菌の多い人、少ない人)なので、パターン化はされなかった。(清浄度は高い)

今後も近畿・大阪ブロックでは、全ての児童生徒が望ましい環境で学校生活を送れるように、共同して広域的な事業・研究を進めていく予定である。

③ 学校環境衛生基準に則った学校環境衛生検査(定期検査)の完全実施を目指して

一般社団法人愛知県学校薬剤師会 木全 勝彦

本会として、完全実施に向けた体制整備について

- 1) 学校保健計画の立案における学校環境衛生活動例の作成
- 2) 学校環境衛生基準に則った統一した「標準検査成績書様式例」の作成
- 3) 検査マニュアルの作成(学校薬剤師のための学校環境衛生基準教本)
- 4) 使用機器等の紹介及び斡旋、リース等のシステム作り
- 5) 指導助言のQ&A
- 6) HP等を利用したアンケート調査
- 7) 県学薬、地区学校薬剤師等での講習会、総会での講演等を利用した啓発等
学校関係者からの学校環境衛生活動に伴う質問等にも対応できるような研鑽に努める

④ 大阪市内の小学生に対する医薬品適正使用の啓発について

大阪市健康局健康推進部生活衛生課薬務指導グループ

松井 澄美子

大阪市は、大阪市学校薬剤師会、大阪府学校薬剤師会の協力のもと、平成19年度から小学生に対して「くすりの正しい使い方講座」を実施している。

行政を通じて校長先生に開催の働きかけをする。また、年1回の研修をして

講師のスキルを高める。アンケートで講義内容をチェックしている。

専門用語の使用頻度を少なくし、他の平易な言葉の言い換え、解説で対応する。

*講義全般を通じて:学校薬剤師の見える化・責任をもって取り組んでいく事。

文責 京都府学校薬剤師会 守谷まさ子